

多元文化論系 プログラム紹介 (2017 年度)

2017.3.17 科目登録ガイダンス資料

I. 5つのプログラム体制

- ・多元文化論系には、皆さんのニーズに合うように5つのプログラムがあります。
- ・各プログラムには複数名の教員が配置され、プログラムのカリキュラムに対する責任を持ちます。
- ・他の論系では、論系の各教員は、ただ1つのプログラムに所属する体制を採用していますが、多元文化論系では、各教員が複数のプログラムの教育・研究に携わることにより、論系を一体的に運営することを重視しています。
- ・学生のみなさんは、複数のプログラムから関心に応じて授業を選択することができます。

II. 各プログラム紹介

- ・以下に、①プログラム名、②英文プログラム名、③プログラムの視点、④配置教員名、⑤講義科目（科目名、副題、学期、曜日時限、担当教員）、⑥演習科目（科目名、副題、学期、曜日時限、担当教員）の順で紹介します。



英語圏文化プログラム

English-speaking Cultures Program

明治期日本の先覚者たちの多くは英語を通して外国文化を学び、英語で日本からの文化的な発信を行いました。21世紀の今、英語圏世界は地理的にも大きく広がり、私たちが受容する文化もハイカルチャーから民衆文化まで広範囲に及びます。先人の進取の気概を継承しつつ今この時代に固有の課題に取り組もうとする人たちに、本プログラムは多様かつ必須の科目群を提供します。また、日本からの発信力を養う上で、英語教育のあり方を検討しつつ総合的な英語能力の向上をはかることは不可欠ですが、それもまた本プログラムの重要な目標となっています。

配置教員名	小田島恒志、エドワード・チャン、タニア・ホサイン、渡辺愛子				
講義科目					
英語圏文化研究 1			アメリカ音楽の世界		
20 世紀イギリス大衆文化の隆盛					
春クォーター	01:水 1 時限 02:無その他	渡辺 愛子	春学期	金 3 時限	チャン エドワ ード ケイ
英語圏文化概論 1			現代イギリス社会におけるスポーツ文化		
‘Collecting’					
春学期	金 3 時限	ロビンソン ピ ーター	春学期	月 3 時限	ライアン ステ イーブン
変貌する英語圏世界			英米演劇の伝統と変容		
戦後イギリスと英語圏諸国の文化生産					
春学期	水 4 時限	菅野 素子	春学期	水 4 時限	梅宮 悠

ポストコロニアリズム			英語圏文化概論 2		
			Britain in the twenty-first century... seen through the eyes of popular culture		
秋学期	金 4 時限	チャン エドワード ケイ	秋学期	月 3 時限	ライアン ステイーブン
日本の英語教育			英米演劇と近代		
English Education in Japan			アーサー・ミラーの『セールスマンの死』、ピーター・シェファールの『エクウス』から「近代」を見る		
秋学期	火 4 時限	ライアン ステイーブン	秋学期	木 3 時限	水谷 八也
英語圏文化研究 2			イギリス民衆文化論		
舞台メディア、映像メディア作品を通して見るオーストラリアの過去と現在			現代イギリス文化		
秋学期	火 4 時限	澤田 敬司	秋学期	木 1 時限	小田島 恒志
演習科目					
多元文化論系演習（英語圏の言語政策）			多元文化論系演習（アメリカ文化史）		
Looking Beyond the Surface					
春学期	月 5 時限	ローソン アンドリュウ	春学期	火 5 時限	チャン エドワード ケイ
多元文化論系演習（イギリス文化史）			多元文化論系演習（英語演劇の文化史）		
現代イギリス文化の入門と探究			現代イギリス演劇入門		
春学期	火 2 時限	渡辺 愛子	春学期	月 1 時限	小田島 恒志
多元文化論系演習（外国語学習者の心理）			多元文化論系演習（英語教育の諸問題）		
			English as a Global Language		
春学期	月 5 時限	ライアン ステイーブン	秋学期	月 5 時限	ローソン アンドリュウ
多元文化論系演習（英語の構造）			多元文化論系演習（アイルランド文化史）		
言語の構造と英語の特徴			アイルランドの文化を概観する		
秋学期	土 3 時限	森田 彰	秋学期	月 3 時限	榎木 伸明
多元文化論系演習（現代英語圏フィクション）			多元文化論系演習（思想の文化史）		
英語で書かれた小説の読み方			「文化」とは？文化「の研究」とは？		
秋学期	月 1 時限	小田島 恒志	秋学期	水 1 時限	渡辺 愛子
多元文化論系演習（宗教の文化史）			多元文化論系演習（英語圏の映像文化）		
			American Auteurs		
秋学期	金 2 時限	チャン エドワード ケイ	秋学期	木 3 時限	チャン エドワード ケイ



アジア文化プログラム

Asian Cultures Program

現在の世界情勢のなかで、アジア諸地域の上に互いの文化や歴史に関する深い相互理解を形成することは、極めて緊急性の高い重要な課題です。アジア文化プログラムでは、この課題をみずからのものとして引き受け、日本を含むアジア地域における、古代から近現代に至る文化の諸事象や古典の叡智、文化交流について、文学・言語・思想・政治・宗教・社会・芸術・歴史学などの諸分野を広く視野に収めつつ、多角的にアプローチします。時には原典資料にあたりながら、複雑に入りくんだアジア世界の多様性・多元性に向きあい、そこに宿る個別性・普遍性について深く考察することを目指します。

配置教員名		伊川健二、河野貴美子、高屋亜希、森由利亜、柳澤明、吉原浩人			
講義科目					
アジアの思想的基盤			アジアの近代		
四書を読む			東アジアの近代化と「辺疆」		
春学期	火 5 時限	宮下 和大	春学期	月 4 時限	鈴木 仁麗
神道概論			伝統文化概論 1		
「シン・トウ」概論			日本の絵解き		
春学期	火 4 時限	門屋 温	春学期	月 2 時限	吉原 浩人
アジア・日本文化研究 1			歴史と文学		
中世日本の地域史			中世日本人の異国観		
春学期	水 4 時限	似鳥 雄一	春学期	火 4 時限	伊川 健二
現代文化概論 1			伝統文化研究 1		
J-POP の文化学 ― 小沢健二、エレファントカシマシ、サカナクションを中心に			インドから中央アジア・東アジアに至る禅観の展開		
春学期	金 4 時限	柿谷 浩一	春学期	月 2 時限	山部 能宜
アジア・日本文化概論 1			内陸アジア史		
中国と日本における儒教を中心とする思想の展開			モンゴル帝国成立史		
春学期	木 5 時限	許 家晟	春学期	金 5 時限	赤坂 恒明
伝統文化概論 2			チベット文化論		
通念の疑い方			チベットにおける仏教の歴史とその思想		
秋学期	金 3 時限	森 新之介	秋学期	金 4 時限	西沢 史仁
アジア・日本文化概論 2			日本の伝統文化		
前近代の日本文化			具象化された浄土教的世界を読み解く		
秋学期	火 3 時限	河野 貴美子	秋学期	月 3 時限	安藤 章仁
現代文化研究 2			アジア・日本文化研究 2		
中国の民族社会と民族文化			多元帝国としての清朝		
秋学期	金 2 時限	張 勝蘭	秋学期	月 2 時限	柳澤 明

演習科目					
多元文化論系演習（東アジアの国際秩序）			多元文化論系演習（遊牧・オアシス文化論）		
19世紀初頭のイギリスと清朝			中央ユーラシアの歴史と文化		
春学期	月2時限	柳澤 明	春学期	金3時限	濱本 真実
多元文化論系演習（東アジアの伝統と宗教文化）			多元文化論系演習（海域文化交流史）		
日琉往還する宗教文化史—『琉球神道記』を読み解く—			ルイス・フロイス『ヨーロッパ文化と日本文化』を日本語でよむ		
春学期	金4時限	原 克昭	春学期	火3時限	伊川 健二
多元文化論系演習（中国の文明史）			多元文化論系演習（東アジアの言葉と書物）		
中国を知るために			日本に伝来した漢籍をめぐって		
春学期	金4時限	稲畑 耕一郎	春学期	水5時限	山田 尚子
多元文化論系演習（仏教文化交流）			多元文化論系演習（海外華人文化）		
『今昔物語集』震旦部を読む					
春学期	火6時限	吉原 浩人	春学期	金5時限	高屋 亜希
多元文化論系演習（現代中国と道教・民間信仰）			多元文化論系演習（経書研究）		
中国宗教における聖地			『論語集解』を読む		
春学期	金3時限	志賀 市子	春学期	火3時限	高橋 康浩
多元文化論系演習（神話の発生と社会）			多元文化論系演習（アジア地域文化交流）		
			アレクサンドロ・ヴァリニャーノ『東インド巡察記』を日本語でよむ		
秋学期	水3時限	松本 弘毅	秋学期	火3時限	伊川 健二
多元文化論系演習（超領域的伝統形成）			多元文化論系演習（日本宗教の伝統と変容）		
『伝習録』を読む—陽明学の世界—			日本の法華経行者達—『法華験記』を読む—		
秋学期	木2時限	永富 青地	秋学期	金5時限	佐藤 晃
多元文化論系演習（歴史の遺産と表現）			多元文化論系演習（中国の同時代文化）		
落語を題材にした作品（小説・映画・テレビドラマ・マンガ・アニメなど）					
秋学期	火2時限	宮 信明	秋学期	金5時限	高屋 亜希



ヨーロッパ文化プログラム

European Cultures Program

地中海の古典的な文化を基礎とすることなしに今日のヨーロッパの文化はあり得ません。また、そのヨーロッパの文化は、周辺世界からも多くのものを吸収し、ときに対峙しながら発展を見てきました。ヨーロッパ世界とその周辺世界とを並べてみると、その間の微妙な移り変わりとなり合い、そして、差異の存在にあらためて私たちは気づかされます。それらの世界の歴史的・地域的に多様な要素を認識しつつ、時間的・地域的差異と共通の要因を見きわめていくことは、現代の日本社会の問題をグローバルな視点から考えるうえでも必須のことと言えるでしょう。

配置教員名		井上文則、源貴志、村井誠人			
講義科目					
ヨーロッパ・地中海・イスラーム文化研究 2			地中海文化概論		
歴史の舞台としてのヨーロッパ			古代ローマの文化		
春学期	水 2 時限	村井 誠人	春学期	木 3 時限	井上 文則
ヨーロッパ・地中海・イスラーム文化概論 1			ヨーロッパ・地中海・イスラーム文化概論 2		
ドイツを中心とした近現代ヨーロッパ国際政治史			映画『戦争と平和』から見るヨーロッパの近代		
春学期	水 3 時限	前川 陽祐	秋学期	木 2 時限	源 貴志
現代中欧世界とその歴史			北欧世界とその歴史		
ウィーン：都市のイメージ、イメージの都市			北欧 19 世紀史		
秋学期	無フル OD	森 元孝	秋学期	水 2 時限	村井 誠人
現代文化研究 1			伝統文化研究 2		
欧米文化史－宮廷、サロン、カフェでの知的ソシア ビリティから現代までの芸術家・文化人の活動－					
秋学期	木 4 時限	柳下 恵美	秋学期	木 3 時限	井上 文則
多元文化論系演習（ロシア文化論）			多元文化論系演習（ヨーロッパの芸術）		
春クォーター	01:火 3 時限 02:金 1 時限	八木 君人	夏クォーター	01:火 3 時限 02:金 1 時限	源 貴志
多元文化論系演習（西洋古典研究）			多元文化論系演習（フランス近現代文化）		
			フランスの文化と歴史的背景		
春学期	水 2 時限	井上 文則	春学期	木 5 時限	早川 理穂
多元文化論系演習（現代ヨーロッパの諸問題）			多元文化論系演習（ミュージアムにみる「ヨーロッ パ」-文化触変の形跡を探る-）		
1968 年を考える			文化触変の形跡を探る		
春学期	火 5 時限	村井 誠人	集中講義（春学 期）	01:水 1 時限 02:無その他	渡辺 愛子
多元文化論系演習（ギリシア世界）			多元文化論系演習（ローマ世界）		
古代ギリシアの世界観					
秋学期	火 4 時限	岩田 圭一	秋学期	水 2 時限	井上 文則

多元文化論系演習（ドイツ近現代文化）			多元文化論系演習（北欧近現代文化）		
ドイツ語圏と中欧の建築文化			北欧とは何か		
秋学期	金 3 時限	藤井 明彦	秋学期	火 5 時限	村井 誠人
多元文化論系演習（東欧の歴史から）			多元文化論系演習（ヨーロッパとアジアの接触）		
ポーランドのカトリック教会と独立自主管理労組「連帯」の運動					
秋学期	月 3 時限	井内 敏夫	秋学期	木 4 時限	源 貴志



中東・イスラーム文化プログラム Middle Eastern and Islamic Cultures Program

2017 年度から新たに独立して設立されたプログラムです。中東という地域にはイスラーム教徒だけでなく、古くからユダヤ教徒やキリスト教徒も共存しており、彼らも重要な構成要素になっています。またイスラーム社会は中東だけでなく世界各地に広がっています。アメリカ合衆国や南米、アジアやアフリカのイスラーム社会、ヨーロッパへの移民、あるいは日本とイスラーム社会の交流史なども扱います。現在、中東・イスラームは最も偏見やデマが充満した分野と言えるかもしれません。第三者によって歪められた情報に踊らされることなく、複眼的に物事を捉え、情報リテラシーを鍛えていきましょう。このプログラムでは、世界の出来事の表面をなでるだけでなく、歴史や文化を深く丁寧に掘り下げて、宗教対立という構図からだけでは見えてこない国際情勢の形成過程やその要因に迫ります。

配置教員名		大稔 哲也			
講義科目					
アジア社会とイスラーム			ヨーロッパ・地中海・イスラーム文化研究 1		
イスラームの基本と多様性を学ぶ			中東社会史入門（前）		
春学期	金 4 時限	竹村 和朗	春学期	金 4 時限	大稔 哲也
イスラーム文化世界					
中東現代史入門（後）					
秋学期	火 2 時限	佐藤 尚平			
演習科目					
多元文化論系演習（イスラーム社会論）			多元文化論系演習（地中海・イスラーム世界）		
中東とイスラームの歴史と社会			中東地域における国民国家を問い直す：近現代エジプトにおけるナショナリズム形成を事例に		
春学期	木 3 時限	佐藤 尚平	秋学期	金 5 時限	鈴木 恵美



国際日本文化論プログラム (JCulP)

Global Studies in Japanese Cultures Program

日本文化を世界的な視野のもとに学び、かつその成果を広く世界に向けて発信できる人材の育成を目指して発足したプログラムです。授業は英語で行われます。英語を通じて日本文化を学ぶことで、日本の歴史や伝統、習慣や考え方を新たな角度から捉え直すことを試みます。特別な入試で選抜された日本学生、海外学生がこのプログラムに所属しますが、一般の学生も演習科目を履修することができます。

配置教員名	安藤文人、由尾瞳、高井詩穂、パウ・ピタルク・フェルナンデス				
演習科目					
Contemporary Japanese Fiction in English Translation (TCS quarter seminar)			Writing Cities in Japanese Literature and Beyond (TCS quarter seminar)		
春クォーター	01:月 1 時限 02:木 4 時限	由尾 瞳	春クォーター	01:月 4 時限 02:木 1 時限	由尾 瞳
Women's Coming-of-Age Narratives (TCS quarter seminar)			Japanese Science Fiction: Self, Environment and Empire (TCS quarter seminar)		
秋クォーター	01:月 4 時限 02:木 1 時限	由尾 瞳	秋クォーター	01:月 1 時限 02:木 4 時限	ピタルク パウ
Ghosts and the Supernatural in Classical Japanese Literature (TCS quarter seminar)			Global Tokyo (TCS quarter seminar)		
秋クォーター	01:火 5 時限 02:金 1 時限	高井 詩穂	冬クォーター	01:月 1 時限 02:木 4 時限	由尾 瞳
Youth Culture in Modern East Asian Literature (TCS quarter seminar)			Adaptations of Classical Japanese Literature (TCS quarter seminar)		
冬クォーター	01:火 5 時限 02:金 1 時限	ピタルク パウ	冬クォーター	01:月 4 時限 02:木 1 時限	高井 詩穂

プログラムに属さない科目（講義科目）					
日本史・世界史再発見			多元文化特論 3		
「あつ」と驚く、歴史の世界によろこそ！			「色即是空」の世界—大乘仏教「空」思想の形成と展開—		
春学期	木 5 時限	渡辺 愛子 他	春学期	月 5 時限	佐藤 晃
仏教文化の世界—インド・チベットを中心に—			仏教伝播のダイナミズム		
春学期	金 3 時限	佐藤 晃	秋学期	金 3 時限	佐藤 晃
多元文化特論 2			多元文化特論 4		
中世日本の「文化史」—生活・慣習・環境—			「銀の時代」のロシア文化		
秋学期	水 4 時限	似鳥 雄一	秋学期	火 2 時限	松本 隆志

Ⅲ. 2017年度ゼミ・担当者名紹介

・以下のゼミは2017年度に開講されるもので、2018年度以降は変更の可能性あります。

ゼミ名	担当教員名
中東・イスラーム文化論ゼミ	大稔哲也
異文化受容論ゼミ	小田島恒志
日本文化史ゼミ	伊川健二
アジア近世史ゼミ	柳澤明
現代中国文化論ゼミ	高屋亜希
東アジアの生命観と倫理ゼミ	森由利亜
思想文化論ゼミ	吉原浩人
漢字・漢文文化ゼミ	河野貴美子
ヨーロッパ近現代文化論ゼミ	村井誠人
ユーラシア文化論ゼミ	源貴志
アメリカ文化論ゼミ	エドワード・チャン
イギリス・アイルランド・英連邦諸国ゼミ	渡辺愛子
言語・文化・英語教育ゼミ	タニア・ホサイン
地中海文化論ゼミ	井上文則